

左京はあとふるプラン

ニュースレター 第4号



発行日 平成24年3月26日
発行者 左京区役所区民部総務課
電話 702-1021

今後10年間の左京区のまちづくりの指針となる「左京はあとふるプラン」(左京区基本計画第2期)が昨年4月にスタートしました。

このニュースレターでは、「左京はあとふるプラン」の推進に関する情報をお伝えしていきます。

第10回次代の左京まちづくり会議・第5回左京区住民円卓会議を開催しました!

3月8日に、第10回「次代の左京まちづくり会議」・第5回左京区住民円卓会議を合同で開催しました。会議では、来年度予算案「区民提案・共汗型まちづくり支援事業」等の概要について説明を行いました。

来年度予算案「区民提案・共汗型まちづくり支援事業」の概要

予算の特徴

- 地域課題の解決や「自分たちのまちは、自分たちでつっていく」という地域のまちづくりを、区長を先頭に区役所が柔軟に支えていく協働の仕組みづくりとして、新たに創設。
- 区長に裁量権のある予算の拡大(23年度約1千万円⇒24年度約2千万円)
- 区民が自発的・自主的に企画・運営する事業への交付金制度である「区民提案型支援事業」と、次代の左京まちづくり会議による基本計画推進プロジェクトなど区民と区役所が共汗して取り組む区民ぐるみの事業である「共汗型事業(※1)」から成る。

※1 24年度新規事業:久多地域の支え合い、助け合いのまちづくり、ようこそお母さん事業、災害対応力の向上に向けた地域との連携強化、左京学生ボランティアセンター(ネットワーク)の構築等

来年度予算案「地域コミュニティ活性化支援事業」の概要

平成23年11月に制定した「京都市地域コミュニティ活性化推進条例」に基づき、地域コミュニティ活性化のための総合的な相談窓口「地域コミュニティサポートセンター(仮称)」の設置をはじめ、自治会・町内会等の自主的取組に対し、必要な経費の一部を助成する「地域コミュニティ活性化支援助成制度」(仮称)等の活性化策を推進する。

次代の左京まちづくり会議宗田座長から御挨拶いただきました

平成24年予算案「区民提案・共汗型まちづくり支援事業」等は、区長の裁量を拡大して区民主体の提案型まちづくり活動を支援するとともに、弱体化が叫ばれて久しい地域コミュニティの活性化を支援するものである。本日お集まりいただいた、地域の代表である左京円卓会議委員の皆様には、いち早く地域に持ち帰っていただき、各地域で色々なアイデアを持った潜在的な人材を掘りおこす等、活用に向けた準備をお願いしたい。今後、次代の左京まちづくり会議としても、基本計画の推進プロジェクトを進め、左京区が更に魅力あふれるまちとなるよう力を尽くしたい。

今後の予定

市会で予算案が可決されましたら、24年4~5月に区民提案型支援事業である「左京まちづくり活動支援事業」の募集をし、5~6月頃に採択事業の決定をする予定です。事業募集の詳細については、市民しんぶん左京区版「左京ボイス」等にて周知する予定です。御覧ください。

「こんな事業は応募できるのかな?」などと思いつかれたら、お気軽に総務課・まちづくり推進課に御相談ください。



合同会議終了後、第10回次代の左京まちづくり会議を開催しました！

会議では、次代の左京まちづくり会議による基本計画推進プロジェクトの今後の進め方について議論しました。

基本計画推進プロジェクトの今後の進め方について（概要）

次代の左京まちづくり会議による企画事業の充実

- ・23年度は、左京はあとふるプランの3つの目標の1つである「美しい自然のまちづくり」を推進するための「左京の自然を愛でるプロジェクト」を、「チマキザサ再生プロジェクト」チーム等と連携して実施し、北部地域（花脊・別所）の自然の現状や課題について共有することができた。
- ・来年度は、新たに広河原地域で地域資源をいかした事業を検討するとともに、23年度に引き続き「チマキザサ再生プロジェクト」チームとの連携や、いけば花・茶道・和菓子等の文化に親しむ機会づくりを検討する。
- ・24年度は、左京はあとふるプランの目標である「歴史・文化・学問のまちづくり」又は「ひとにやさしいぬくもりのまちづくり」を推進するため、新規プロジェクトを立ち上げる。

一般公募の区民メンバーによるチームの設立

- ・次代の左京まちづくり会議が中心となって、区民の幅広い参画の下、区民全体で事業企画・展開を図れるようにするため、一般公募の区民メンバーによるチームの立ち上げを検討する。

意見交換（概要）

- ・「左京の自然を愛でるプロジェクト」では、自然の美しさに芸術（いけば花）が加わることで、自然の素晴らしさが際立ち、一般区民の方の自然への意識が高まる良い効果をもたらした。
- ・来年度の「左京の自然を愛でるプロジェクト」の広河原での実施に当たっては、幅広い年代にとって魅力ある内容となるよう、地元と十分協議しつつ進めたい。
- ・北部地域で取り組んでいる「左京の自然を愛でるプロジェクト」は素晴らしいと思うが、南部地域も社寺・仏閣等に恵まれた地域であるので、新規プロジェクトを検討の際には考慮してほしい。
- ・一般公募の区民メンバーによるチームの立ち上げについては、京都市100人委員会の成功を踏まえて、各区で市民参加の仕組みづくりをしたいということで検討しているが、活発なチームにするために、元気な女性等の参加を得たい。
- ・いきなり区民メンバーを公募する方法だと、多くの人にとって応募しにくいものになってしまう。まずは、カフェのような形式で「左京のまちづくり」に興味のある人に集まってもらう場をつくり、その議論の中から、新規プロジェクトを検討し、響感チームの立ち上げにつなげてはどうか。
- ・来年度予算案の中で、保健福祉局が、地域の身近なスペースを活用した高齢者の「居場所づくり」支援を行うことにも関連するが、確かに、左京区では区民が気軽に集まれる場所が少ない。例えば、伏見区や東山区では空き家等を活用して取り組まれているようである。今後、「まちの縁側づくり」が大切である。



今回の会議では、来年度のプロジェクト実施に向け熱心な議論をしていただきました。協議結果を踏まえ、来年度は5～6月頃に開催する予定です。来年度のプロジェクトについても順次お知らせしていきますので、お楽しみに！

